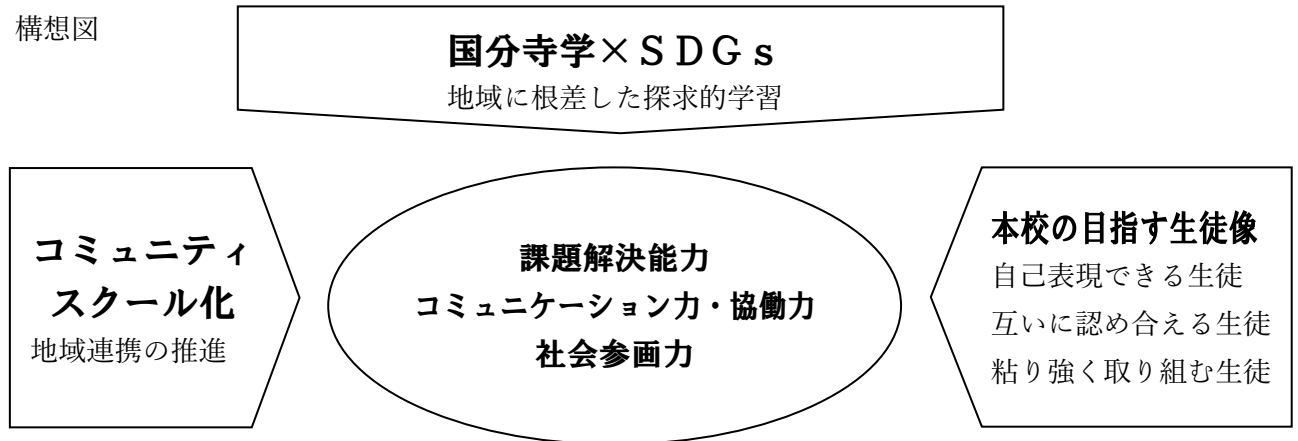


令和7年度 国分寺学 全体計画

- ねらい SDGs の 17 目標を手掛かりとして、地域(国分寺)や日本、世界が抱える課題について理解を深めるとともに、それらの解決に向けて、他者と協働しながら、主体的に社会参画しようとする態度を育てる。

2 構想図



3 系統図

	第1学年	第2学年	第3学年
国分寺学 × SDGs	<u>東京フィールドワーク</u> 様々な施設や企業、団体を訪問し、SDGsに関する理解を高めるとともに、関心のあるテーマをもとにグループを組み、調査したことを同級生や保護者に向けて発表する。	<u>職場体験</u> 地域の事業所で働きながら、社会参画の意義を学ぶ。また、その体験や各事業所におけるSDGsの取り組みをまとめ、同級生や下級生、保護者に向けて発表する。	<u>国分寺学×SDGs プロジェクト</u> SDGsの17目標を手掛かりに、自分たちのできることをプロジェクト化する。また、その報告を生徒や保護者、地域に向けて発表する。
地域連携	・人権平和課や環境対策課による講義	・保護者等による事業所の紹介 ・地域人材を活用したマナー講座	・地域人材によるプロジェクト支援

個人的な探求から

社会的な実践へ

SDGs 講座	様々なテーマの講座を開設し、自分の関心のあるものを受講する。生徒は卒業までに3つの講座を受講することができる。また、講座の開設や当日の運営は、有志生徒によるSDGs委員会が行う。
地域連携	・地域人材による講演 ・保護者による講師のコーディネート ・保護者、地域住民の参加

4 プロジェクト学習に向けて

第1学年

楽しみながら SDGs について学び、社会(地域、日本、世界)に興味を持たせる。

第2学年

職場体験を通して地域への理解を深めるとともに、各事業所における SDGs の取組みを取材し、社会参画の意識を高める。

有志による SDGs 委員会を中心に、プロジェクト案を検討するとともに、実施と発表に向けた工程表を作成する。

第3学年

プロジェクトチームを結成し、総合的な学習の時間や放課後の時間を使って、プロジェクトを進める。なお、類似したテーマの4～6チームをひとまとまりとして、1人の教員がサポートを行う。

SDGs 講座と合わせて、プロジェクトの報告会を行う。

5 小中連携

	内容				手段	
	自然	歴史	伝統文化	防災	話し合い	発表
小学校	・草花の栽培(1) ・野菜の栽培(2) ・植物、昆虫の観察、飼育(3) ・野川散策(4) ・環境を守る人々(5) ・生物と地球の環境(6)	・玉川兄弟と玉川上水(4) ・日本の歴史(6) ・史跡巡り(6)	・昔遊び(2) ・日本の歌、わらべ歌(2) ・わくわく国分寺探検隊(3) ・東京の伝統文化調べ(4) ・赤米の栽培(5) ・日本理解(6) ・和食(6)	・消防体験(2) ・地域安全マップ作成(3) ・学校の防災設備マップ作成(3) ・消防、警察の仕事(4) ・自然災害(5)	・ペアワーク(1) ・話し合いスキルを活用したグループワーク(3) ・学級会(4) ・代表委員会(5) ・ICT機器を活用した話し合い(6)	・班内の発表(1) ・クラス内の発表(2) ・ICTの活用(3) ・PPTの工夫(5) ・聞き取りメモ(6)
中学校1年	・東京FW(総) ・環境への配慮(家)	・日本の歴史(社) ・平和教育(国) ・古典文学、百人一首(国)	・日本の民謡(音) ・和服と洋服(家) ・ペンシルロケット実験(技)	・東京FW(総) ・家庭内事故の防止(家)	・討論の進行(国) ・探求的グループワーク(全) ・各種委員会(特) ・議案書討議(特)	・東京FW発表(総) ・SDGs発表(総) ・意見と根拠(国)
中学校2年	・国分寺の農業、こくべジ講話(技家)	・日本の歴史(社) ・古典文学、百人一首(国)	・和食、行事食(家) ・落語(英) ・歌舞伎、文楽(音)	・普通救命講習(総) ・自然災害への備え(理、保)	・ビブリオバトル(国) ・PCルール討議(特)	・ビブリオバトル(国) ・職場体験発表(総)
中学校3年	・地域の魅力紹介(英) ・自然保護(保)	・修学旅行(総) ・地域の魅力紹介(英) ・古典文学・俳句(国)	・能、狂言(音)	・地域の医療機関(保)	・SDGs委員会(特)	・SDGsプロジェクト報告会(総) ・SNSによる国分寺の魅力発信(英)
目標	・地域の自然に親しみ、環境問題を自分事としてとらえ、改善していこうとする態度を育てる。	・日本や地域の歴史について知るとともに、そこから学んだことを未来に生かそうとする態度を身に付ける。	・日本や地域の文化に親しむとともに、海外に向けて、それらを発信するための表現力を身に付ける。	・家庭や地域の安全を守るとともに、災害時には地域のリーダーとして活躍できる知識や資質を身に付ける。	・社会に関わるテーマについて、自他の考えを比較し、他者の意見を認めながら、自分の考えを述べる。	・相手に応じて、分かりやすさや説得力を高めるための工夫をする。原稿を見ずに聞き手に語りかける。